

2016年 管理者の非違行為はこれだ！

裁判で「管理者はミスをしない」と証言！しかし、こんなにあった管理者の非違行為！

[シリーズ第3弾！]

* 川勝助役編（非違行為7件）

【事象No.1】

1月30日、作業日誌のコピーを失念した。

【事象No.2】

2月3日、班長に臨時総点呼の周知を失念した。

【事象No.3】

3月22日、労災KYシートから運転KYシートへの変更を失念した。

【事象No.4】

8月4日、出勤点呼時、S11編成をS10編成と言い間違えた。

【事象No.5】

10月21日、作業日誌を当直に提出しなかった。

【事象No.6】

11月19日、パン点検の作業指示書10枚に当直印を失念した。

【事象No.7】

11月19日、日勤退出点呼に無遅刻継続日数の更新を失念した。

管理者は、社員の喚呼の言い間違いや些細なミスや勘違い等は「非違行為」として5W1Hでパソコンに入力し、助役会議でも報告していると法廷で証言しています。

では、管理者が自ら犯した「非違行為」は、もちろん報告しているのでしょうか？

管理者の皆さん！社員は貴方の非違行為をいつも見えています！